月次レポート　　作成基準日：2025年4月30日

HSBC ワールド・セレクション【愛称：ゆめラップ】

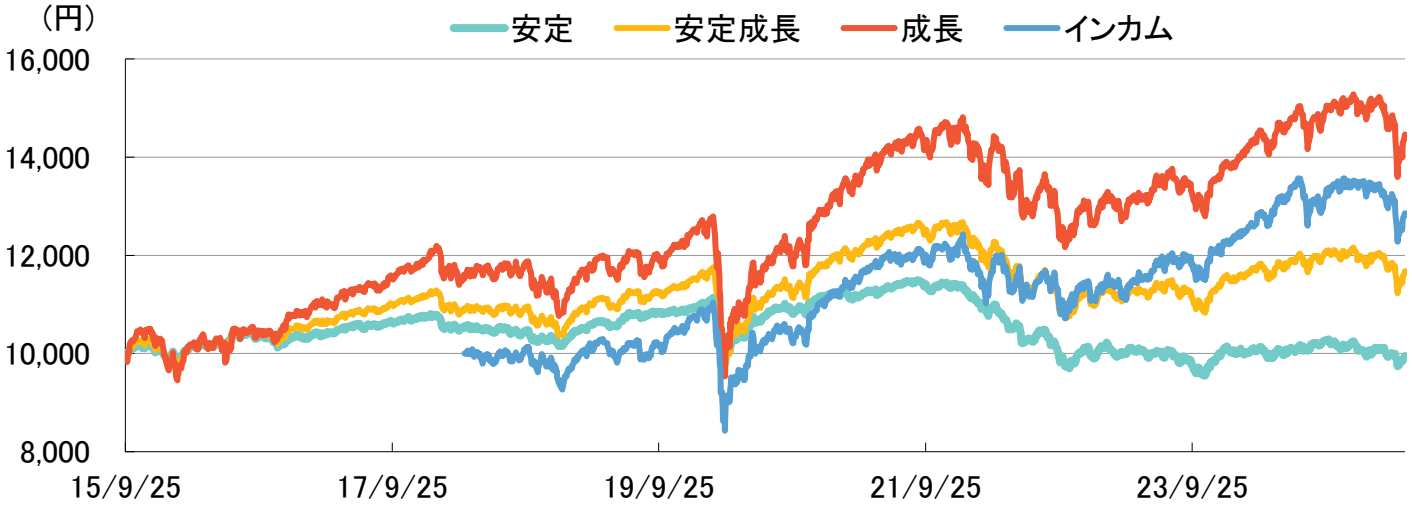
（安定コース）／（安定成長コース）／（成長コース）／（インカムコース）

追加型投信／内外／資産複合

運用報告動画はこちら、または左のQRコードからご覧ください
（当資料と動画は更新タイミングが異なることがあります。）

＊当資料のデータおよびコメントにつきましては、特に記載がない限り作成基準日時点のものとなります。

各コースの分配金再投資基準価額の推移と期間別騰落率



期間別騰落率(税引前)		1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
安定	（2015年9月25日設定）	−0.1%	−0.6%	−1.9%	0.2%	−6.8%	−0.5%
安定成長	（2015年9月25日設定）	−0.7%	−2.1%	−2.8%	0.5%	−1.3%	16.8%
成長	（2015年9月25日設定）	−1.7%	−4.1%	−3.8%	1.0%	5.4%	44.6%
インカム	（2018年4月11日設定）	−1.8%	−3.8%	−4.5%	−0.1%	10.0%	28.6%

＊ 分配金再投資基準価額は、信託報酬（後掲の「当ファンドの費用」をご参照ください）控除後の基準価額に税引前分配金を再投資したものとして計算しています。将来の分配金は、運用状況によって変化します。また、基準価額の騰落率は税引前分配金を再投資したものとして計算しています。

各コースの運用実績と税引前分配金の推移

	安定	安定成長	成長	インカム
1万口当たり基準価額（円）	9,482	11,137	14,019	10,603
前月末基準価額との変化幅（円）	−6	−84	−238	−192

分配金（1万口当たり/円）

決算期	安定	安定成長	成長	決算期	インカム
第5期（20年8月19日）	45	30	10	第38期（24年8月19日）	76
第6期（21年8月19日）	130	130	120	第39期（24年10月21日）	41
第7期（22年8月19日）	0	0	0	第40期（24年12月19日）	75
第8期（23年8月21日）	0	0	0	第41期（25年2月19日）	48
第9期（24年8月19日）	0	0	0	第42期（25年4月21日）	26
設定来累計	510	520	365	設定来累計	2,000

＊ 基準価額は信託報酬控除後のものです。変化幅は、月末基準価額（当月分配金込み）で計算しています。
将来の分配金は、運用状況によって変化します。分配対象額が少額の場合等には、分配を行わないことがあります。

設定・運用：HSBCアセットマネジメント株式会社

HSBC Asset Management

当資料のお取扱いにつきましては、後掲の「留意点」をご参照ください。また、投資信託のお申込みに際しては、「投資信託説明書（交付目論見書）」を必ずご覧ください。

HSBC ワールド・セレクション【愛称：ゆめラップ】

（安定コース）／（安定成長コース）／（成長コース）／（インカムコース）

追加型投信／内外／資産複合

市場動向（前月比）

株式	米国株式		米国の相互関税の発表と中国の報復関税を受けて大幅下落した後、一部の相互関税の一時停止などで下げ幅を縮小
	欧州株式		上旬には米国の相互関税への警戒感から下落したものの、その後は下げ幅を縮小した
	新興国株式		米国の相互関税をめぐり国によりまちまちの動きとなる中、全体としては小幅下落となった
債券	先進国国債		追加利下げを決定した欧州のほか米国や日本でも利回りが低下、価格は上昇した
	世界社債		米国の長期金利が低下する中、世界社債、ハイ・イールド債券ともに上昇
	ハイ・イールド債券		
	新興国債券		米国の相互関税の影響を受ける中、米ドル建て、現地通貨建てともに上昇

今後の見通し

概観			貿易政策の不確実性によりボラティリティは高まっており、2025年の市場は不安定な状況に直面する可能性が高い。これまで出遅れていたセクターや地域が比較的堅調で、分散投資の重要性が高まっている
株式	米国株式		拡張的な財政政策、減税、規制緩和はプラス要因となり得るが、貿易政策の不確実性などで企業の利益成長への期待は後退しつつある
	欧州株式		世界的に市場のけん引役が移行するにつれバリュー株など恩恵を受ける可能性はあるが、貿易政策の不確実性による利益成長への影響がリスク要因
	新興国株式		先進国との比較では投資妙味があるが、世界的な貿易政策をめぐる不確実性に注意が必要
債券	先進国国債		世界的な政策不確実性の状況下では株式のヘッジとなる可能性があるが、米国が景気後退に陥らない限りは利回り低下は限定的と見る
	世界社債		米国債との利回り差は足元で拡大したものの、限定的な動きと考えられる
	ハイ・イールド債券		世界的な関税政策の不確実性により米国債との利回り差が拡大する懸念がある
	米ドル建新興国債券		米国債との利回り差は貿易政策の不確実性などを背景に緩やかに拡大しつつも、良好な需給環境の恩恵を受ける可能性
	現地通貨建新興国債券		新興国の多くで利下げが継続されており、成長サイクルが促進されている。米ドルが弱含みで推移していることも追い風

設定・運用：HSBCアセットマネジメント株式会社

当資料のお取扱いにつきましては、後掲の「留意点」をご参照ください。また、投資信託のお申込みに際しては、「投資信託説明書（交付目論見書）」を必ずご覧ください。

HSBC ワールド・セレクション【愛称：ゆめラップ】

（安定コース）／（安定成長コース）／（成長コース）／（インカムコース）

追加型投信／内外／資産複合

目標リスク水準

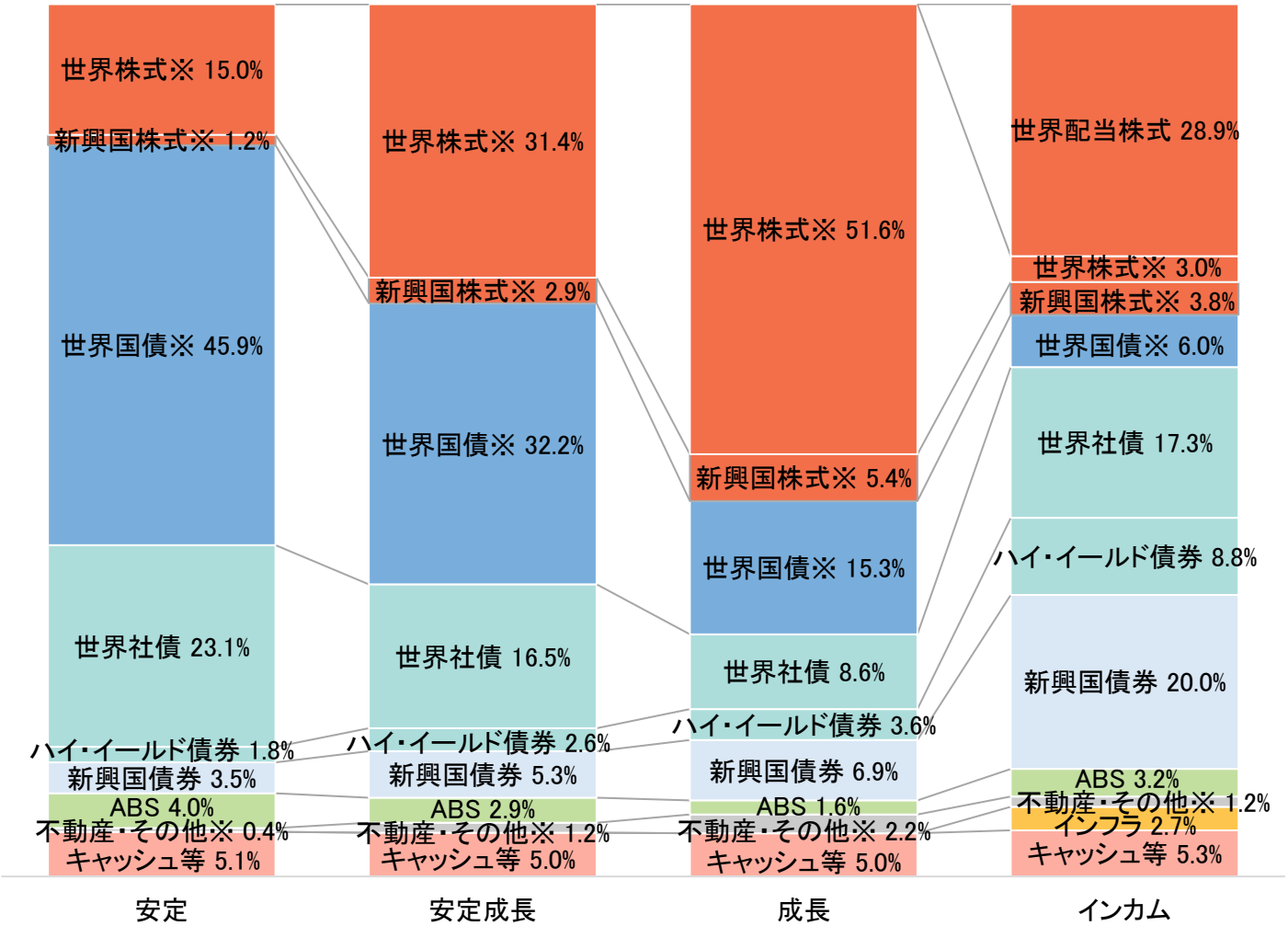
安定	安定成長	成長	インカム
年率 5% 程度	年率 5%～8% 程度	年率 8%～11% 程度	年率 8%～11% 程度

参考利回り

安定	安定成長	成長	インカム
3.0%	2.5%	1.9%	4.1%

注）参考利回りは各コースの投資先ファンドまたは投資先類似ファンドの分配金利回りを参考に各コースの保有割合で加重平均したものです。従って、実際のファンドの利回りとは異なります。また、作成基準日時点で知りうる直近のデータを表示しております。

信託財産の構成



＊ 表示単位未満を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

※ 世界株式は世界、米国、欧州、日本、アジア・パシフィック、先進国等の株式、新興国株式は新興国、中国等の株式、世界国債は世界、米国等の国債、不動産・その他は不動産、代替資産等の合計です。

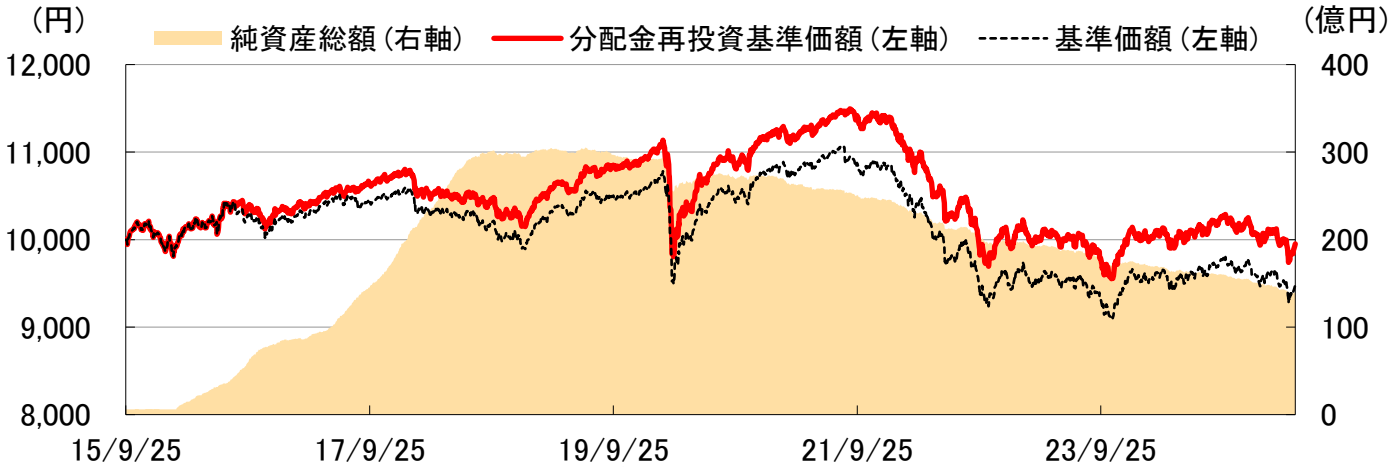
設定・運用：HSBCアセットマネジメント株式会社

当資料のお取扱いにつきましては、後掲の「留意点」をご参照ください。また、投資信託のお申込みに際しては、「投資信託説明書（交付目論見書）」を必ずご覧ください。

HSBC ワールド・セレクション（安定コース）【愛称：ゆめラップ】

追加型投信／内外／資産複合

基準価額と純資産総額の推移（設定来）



＊ 基準価額は信託報酬（後掲の「当ファンドの費用」をご参照ください）控除後のものです。分配金再投資基準価額は税引前分配金を再投資したものです。将来の分配金は、運用状況によって変化します。

商品概要

設定日	2015年9月25日
信託期間	無期限
決算日	原則、8月19日／年1回決算

基準価額等

1万口当たり基準価額（円）	9,482
設定来高値（2021年8月6日）	11,065
設定来安値（2023年10月27日）	9,101
純資産総額（億円）	139.7

＊ 基準価額は信託報酬控除後のものです。

税引前分配金の推移（1万口当たり）

決算期	分配金（円）
第4期（19年8月19日）	70
第5期（20年8月19日）	45
第6期（21年8月19日）	130
第7期（22年8月19日）	0
第8期（23年8月21日）	0
第9期（24年8月19日）	0
設定来累計	510

＊ 将来の分配金は、運用状況によって変化します。分配対象額が少額の場合等には、分配を行わないことがあります。

期間別変動要因

	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
世界株式※	−0.4%	−1.3%	−0.6%	0.6%	4.2%	12.1%
新興国株式※	−0.1%	−0.1%	−0.1%	−0.03%	0.2%	3.0%
世界国債※	0.5%	0.6%	−0.4%	0.2%	−5.9%	−6.5%
世界社債	0.1%	0.6%	−0.04%	0.6%	−2.2%	−0.3%
ハイ・イールド債券	0.01%	0.00%	0.01%	0.04%	−0.3%	0.1%
新興国債券	−0.03%	−0.02%	−0.1%	0.02%	0.4%	0.6%
ABS（資産担保証券）	0.00%	0.01%	0.02%	0.1%	0.1%	0.3%
不動産・その他※	−0.01%	−0.03%	−0.1%	0.00%	0.6%	2.7%
信託報酬	−0.1%	−0.3%	−0.7%	−1.3%	−3.9%	−12.5%
合計	−0.1%	−0.6%	−1.9%	0.2%	−6.8%	−0.5%

＊ 上記は、税引前分配金を再投資したものとして計算した期間別騰落率を、主要項目別に分解した変動の概算値です。※については、P.3の※をご参照ください。信託報酬は、実質的な負担（後掲の「当ファンドの費用」をご参照ください）を表示しています。

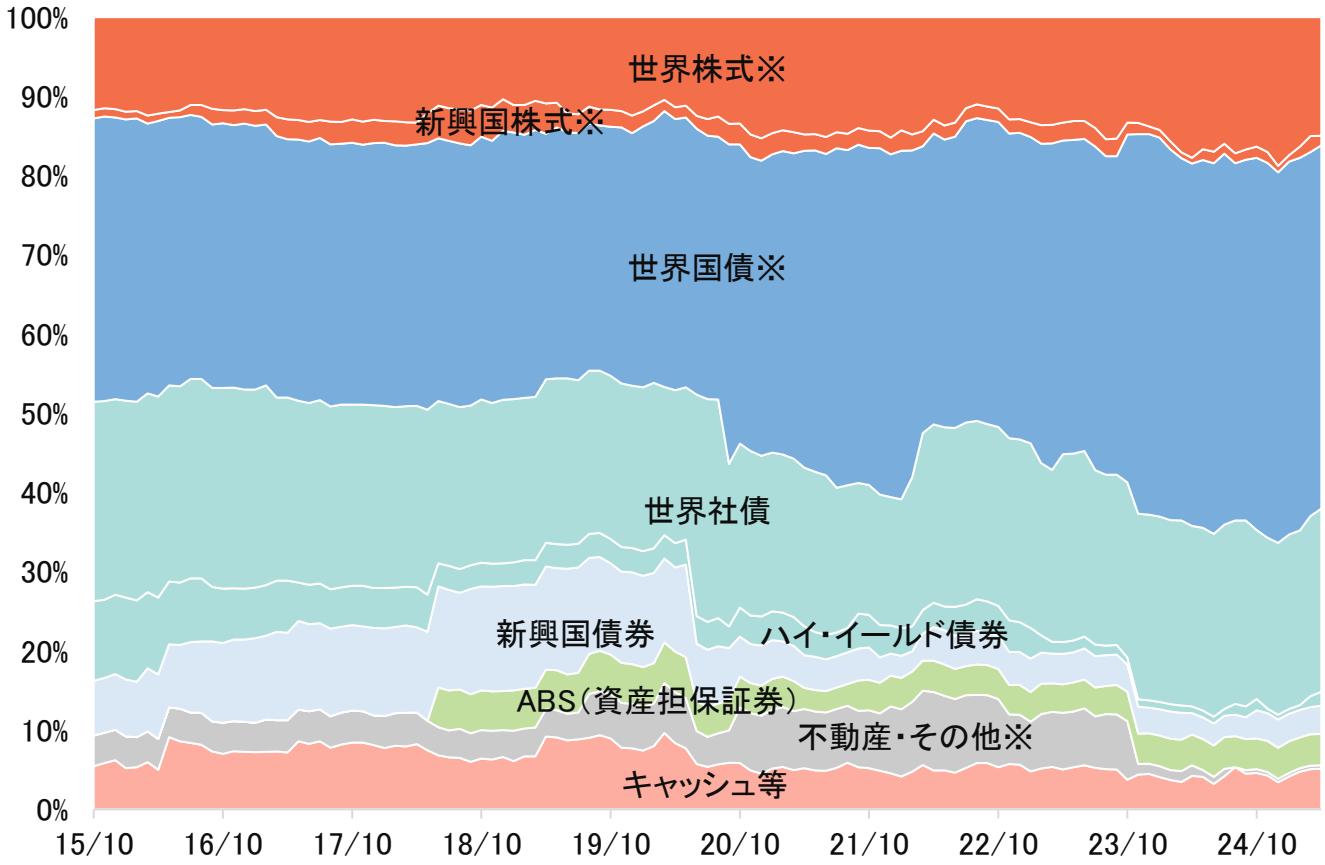
設定・運用：HSBCアセットマネジメント株式会社

当資料のお取扱いにつきましては、後掲の「留意点」をご参照ください。また、投資信託のお申込みに際しては、「投資信託説明書（交付目論見書）」を必ずご覧ください。

HSBC ワールド・セレクション（安定コース）【愛称：ゆめラップ】

追加型投信／内外／資産複合

信託財産構成の推移（設定来）



※については、P.3の※をご参照ください。

【運用状況】

- 当月末の基準価額は、前月末比-0.1%
- 株式：関税発表前に短期的なボラティリティの高まりを予想し引き下げていた米国と世界株式の組入比率を再び引き上げた。一方、政策の不確実性による逆風を考慮して日本や新興国を引き下げたほか、先進国金融株式を全て売却。またインフラ株式を利益確定で一部売却した
- 先進国国債：先行き不透明な経済環境下、米国債の組入比率を引き上げた
- 社債/ハイ・イールド債券：ハイ・イールド債券に弱気な見方を維持しつつも社債とともに組入比率を引き上げた
- 新興国債券：米国の利下げによる恩恵が期待される現地通貨建てを選好。前月からの組入比率を維持

【今後の投資戦略のポイント】

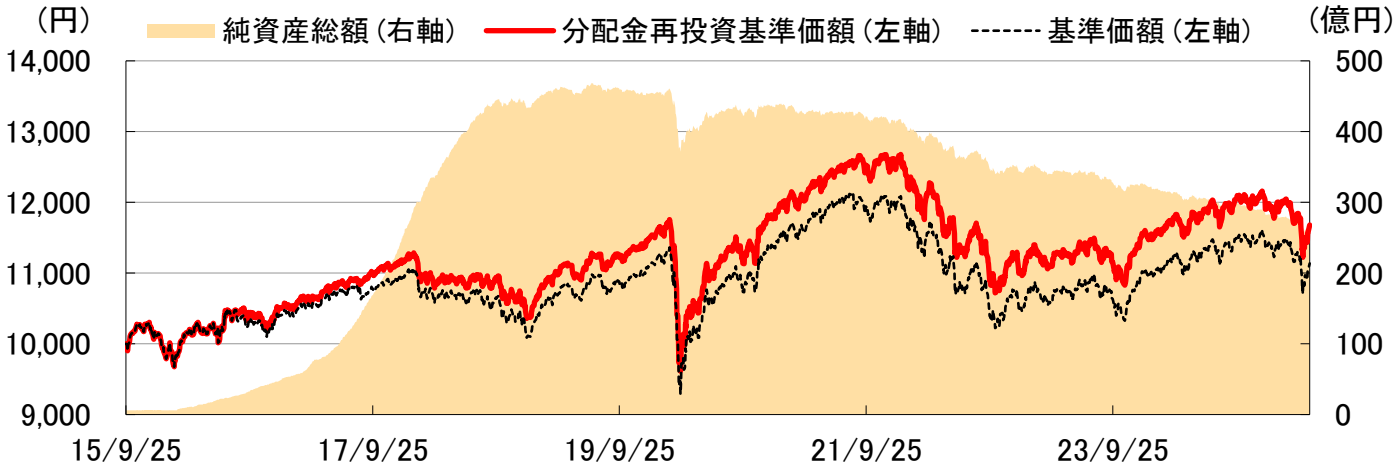
- 慎重な姿勢を維持しつつ、選別的なアプローチを継続する。今後も市場環境を注視しながら、必要に応じて資産配分の見直しを行っていく方針

当資料のお取扱いにつきましては、後掲の「留意点」をご参照ください。また、投資信託のお申込みに際しては、「投資信託説明書（交付目論見書）」を必ずご覧ください。

HSBC ワールド・セレクション（安定成長コース）【愛称：ゆめラップ】

追加型投信／内外／資産複合

基準価額と純資産総額の推移（設定来）



＊ 基準価額は信託報酬（後掲の「当ファンドの費用」をご参照ください）控除後のものです。分配金再投資基準価額は税引前分配金を再投資したものです。将来の分配金は、運用状況によって変化します。

商品概要

設定日	2015年9月25日
信託期間	無期限
決算日	原則、8月19日／年1回決算

基準価額等

1万口当たり基準価額（円）	11,137
設定来高値（2021年8月16日）	12,136
設定来安値（2020年3月24日）	9,292
純資産総額（億円）	264.9

＊ 基準価額は信託報酬控除後のものです。

税引前分配金の推移（1万口当たり）

決算期	分配金（円）
第4期（19年8月19日）	80
第5期（20年8月19日）	30
第6期（21年8月19日）	130
第7期（22年8月19日）	0
第8期（23年8月21日）	0
第9期（24年8月19日）	0
設定来累計	520

＊ 将来の分配金は、運用状況によって変化します。分配対象額が少額の場合等には、分配を行わないことがあります。

期間別変動要因

	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
世界株式※	−0.9%	−2.4%	−1.1%	1.2%	8.3%	26.0%
新興国株式※	−0.1%	−0.2%	−0.3%	−0.05%	0.6%	4.2%
世界国債※	0.3%	0.4%	−0.4%	0.00%	−4.8%	−8.2%
世界社債	0.1%	0.4%	−0.03%	0.5%	−1.9%	2.0%
ハイ・イールド債券	0.01%	0.01%	0.01%	0.1%	−0.5%	−0.5%
新興国債券	−0.04%	−0.03%	−0.1%	0.01%	0.5%	1.6%
ABS（資産担保証券）	0.00%	0.01%	0.02%	0.1%	0.1%	0.1%
不動産・その他※	−0.04%	−0.1%	−0.1%	0.00%	0.2%	4.1%
信託報酬	−0.1%	−0.3%	−0.7%	−1.3%	−3.9%	−12.5%
合計	−0.7%	−2.1%	−2.8%	0.5%	−1.3%	16.8%

＊ 上記は、税引前分配金を再投資したものとして計算した期間別騰落率を、主要項目別に分解した変動の概算値です。
※については、P.3の※をご参照ください。信託報酬は、実質的な負担（後掲の「当ファンドの費用」をご参照ください）を表示しています。

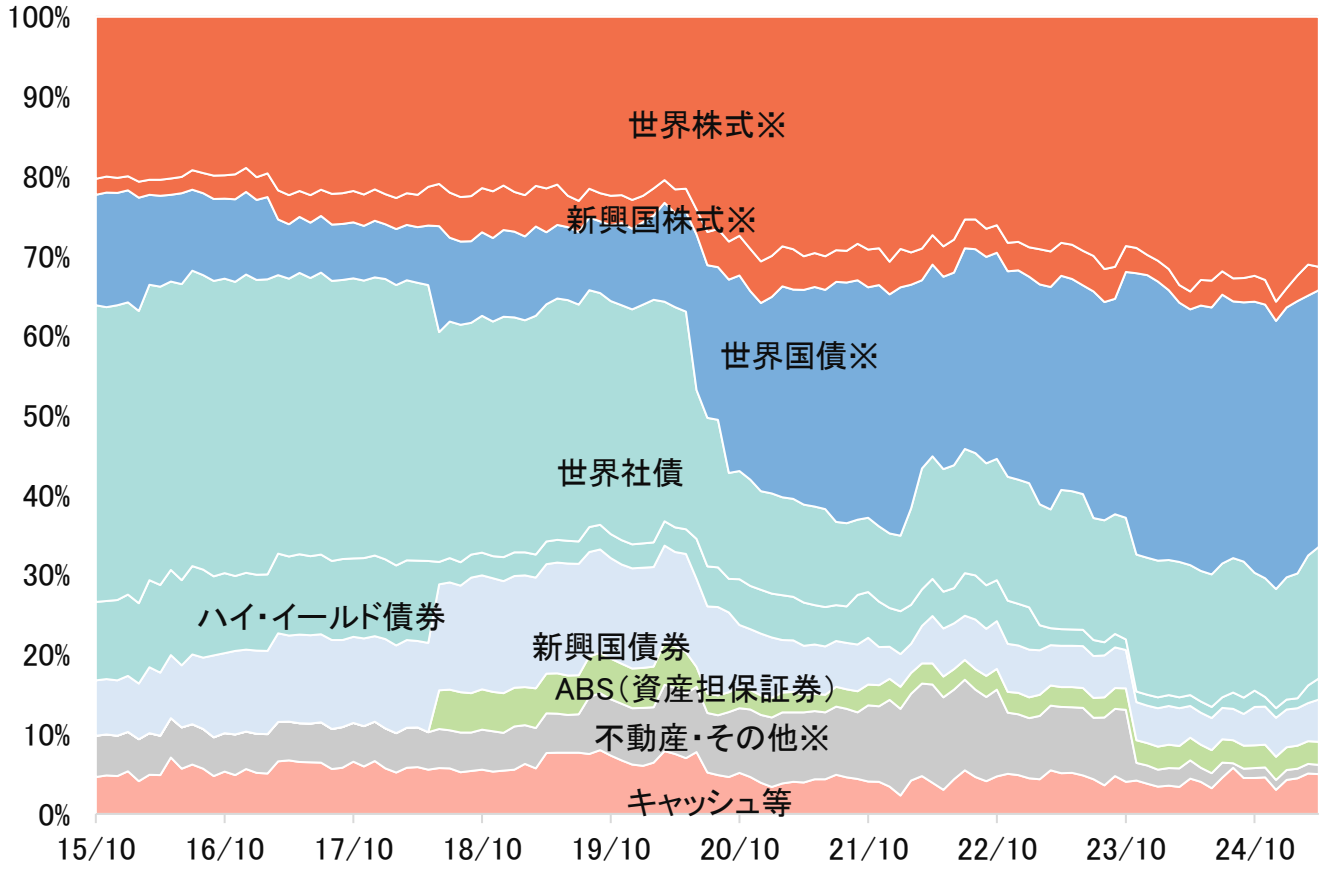
設定・運用：HSBCアセットマネジメント株式会社

当資料のお取扱いにつきましては、後掲の「留意点」をご参照ください。また、投資信託のお申込みに際しては、「投資信託説明書（交付目論見書）」を必ずご覧ください。

HSBC ワールド・セレクション（安定成長コース）【愛称：ゆめラップ】

追加型投信／内外／資産複合

信託財産構成の推移（設定来）



※については、P.3の※をご参照ください。

【運用状況】

- 当月末の基準価額は、前月末比-0.7%
- 株式：関税発表前に短期的なボラティリティの高まりを予想し引き下げていた米国と世界株式の組入比率を再び引き上げた。一方、政策の不確実性による逆風を考慮して日本や新興国を引き下げたほか、先進国金融株式を全て売却。またインフラ株式を利益確定で一部売却した
- 先進国国債：先行き不透明な経済環境下、米国債の組入比率を引き上げた
- 社債/ハイ・イールド債券：ハイ・イールド債券に弱気な見方を維持しつつも組入比率を引き上げた
- 新興国債券：米国の利下げによる恩恵が期待される現地通貨建てを選好。最近の米国債との利回り差拡大を受けて米ドル建てを引き上げた

【今後の投資戦略のポイント】

- 慎重な姿勢を維持しつつ、選別的なアプローチを継続する。今後も市場環境を注視しながら、必要に応じて資産配分の見直しを行っていく方針

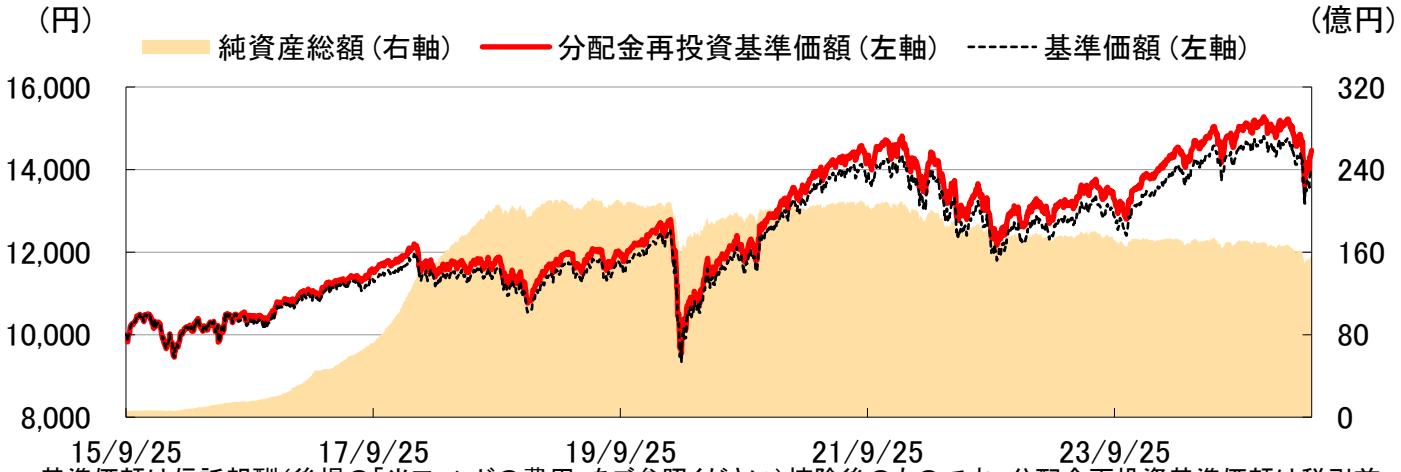
設定・運用：HSBCアセットマネジメント株式会社

当資料のお取扱いにつきましては、後掲の「留意点」をご参照ください。また、投資信託のお申込みに際しては、「投資信託説明書（交付目論見書）」を必ずご覧ください。

HSBC ワールド・セレクション（成長コース）【愛称：ゆめラップ】

追加型投信／内外／資産複合

基準価額と純資産総額の推移（設定来）



＊ 基準価額は信託報酬（後掲の「当ファンドの費用」をご参照ください）控除後のものです。分配金再投資基準価額は税引前分配金を再投資したものです。将来の分配金は、運用状況によって変化します。

商品概要

設定日	2015年9月25日
信託期間	無期限
決算日	原則、8月19日／年1回決算

基準価額等

1万口当たり基準価額（円）	14,019
設定来高値（2024年12月10日）	14,810
設定来安値（2020年3月24日）	9,330
純資産総額（億円）	156.6

＊ 基準価額は信託報酬控除後のものです。

税引前分配金の推移（1万口当たり）

決算期	分配金（円）
第4期（19年8月19日）	10
第5期（20年8月19日）	10
第6期（21年8月19日）	120
第7期（22年8月19日）	0
第8期（23年8月21日）	0
第9期（24年8月19日）	0
設定来累計	365

＊ 将来の分配金は、運用状況によって変化します。分配対象額が少額の場合等には、分配を行わないことがあります。

期間別変動要因

	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
世界株式※	−1.4%	−3.7%	−1.7%	2.1%	13.5%	51.9%
新興国株式※	−0.2%	−0.3%	−0.6%	−0.02%	1.0%	6.4%
世界国債※	0.1%	0.1%	−0.4%	−0.2%	−3.0%	−5.4%
世界社債	0.1%	0.2%	−0.01%	0.3%	−1.4%	0.2%
ハイ・イールド債券	0.01%	0.01%	0.01%	0.1%	−0.7%	−1.5%
新興国債券	−0.1%	−0.03%	−0.2%	0.01%	0.5%	1.2%
ABS（資産担保証券）	0.00%	0.00%	0.01%	0.03%	0.02%	0.00%
不動産・その他※	−0.1%	−0.1%	−0.3%	0.01%	−0.7%	4.3%
信託報酬	−0.1%	−0.3%	−0.7%	−1.3%	−3.9%	−12.5%
合計	−1.7%	−4.1%	−3.8%	1.0%	5.4%	44.6%

＊ 上記は、税引前分配金を再投資したものとして計算した期間別騰落率を、主要項目別に分解した変動の概算値です。
※については、P.3の※をご参照ください。信託報酬は、実質的な負担（後掲の「当ファンドの費用」をご参照ください）を表示しています。

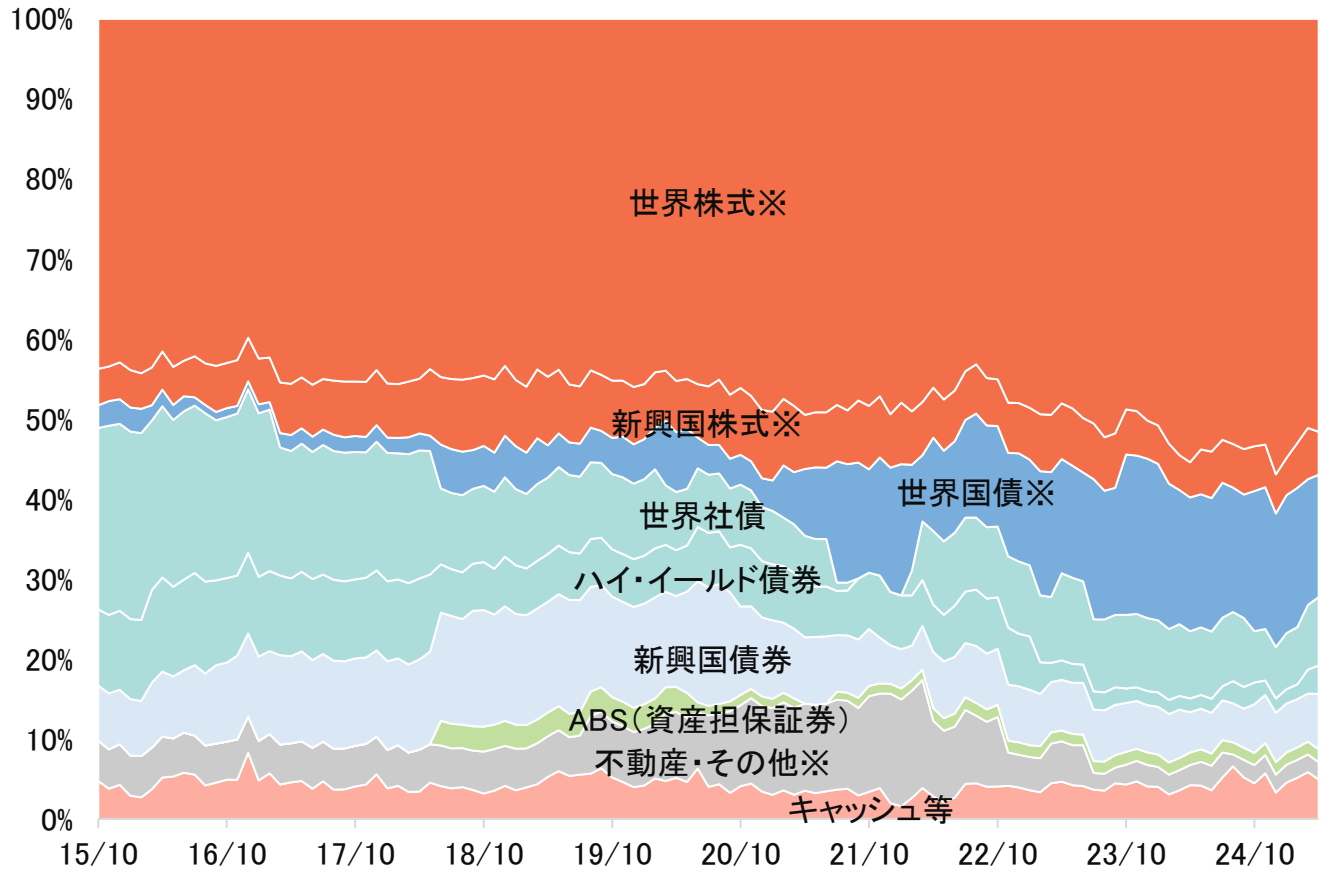
設定・運用：HSBCアセットマネジメント株式会社

当資料のお取扱いにつきましては、後掲の「留意点」をご参照ください。また、投資信託のお申込みに際しては、「投資信託説明書（交付目論見書）」を必ずご覧ください。

HSBC ワールド・セレクション（成長コース）【愛称：ゆめラップ】

追加型投信／内外／資産複合

信託財産構成の推移（設定来）



※については、P.3の※をご参照ください。

【運用状況】

- 当月末の基準価額は、前月末比−1.7%
- 株式：関税発表前に短期的なボラティリティの高まりを予想し引き下げていた米国と世界株式の組入比率を再び引き上げた。一方、政策の不確実性による逆風を考慮して日本や新興国を引き下げたほか、先進国金融株式を全て売却。またインフラ株式を利益確定で一部売却した
- 先進国国債：先行き不透明な経済環境下、米国債の組入比率を引き上げた
- 社債／ハイ・イールド債券：ハイ・イールド債券に弱気な見方を維持しつつも社債とともに組入比率を引き上げた
- 新興国債券：米国の利下げによる恩恵が期待される現地通貨建てを選好。最近の米国債との利回り差拡大を受けて米ドル建てを引き上げた

【今後の投資戦略のポイント】

- 慎重な姿勢を維持しつつ、選別的なアプローチを継続する。今後も市場環境を注視しながら、必要に応じて資産配分の見直しを行っていく方針

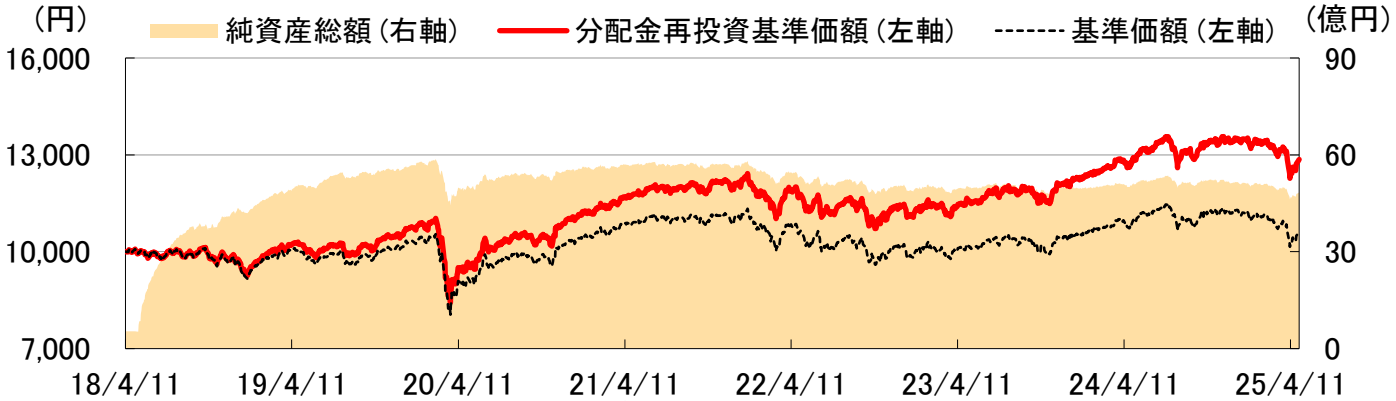
設定・運用：HSBCアセットマネジメント株式会社

当資料のお取扱いにつきましては、後掲の「留意点」をご参照ください。また、投資信託のお申込みに際しては、「投資信託説明書（交付目論見書）」を必ずご覧ください。

HSBC ワールド・セレクション（インカムコース）【愛称：ゆめラップ】

追加型投信／内外／資産複合

基準価額と純資産総額の推移（設定来）



＊ 基準価額は信託報酬（後掲の「当ファンドの費用」をご参照ください）控除後のものです。分配金再投資基準価額は税引前分配金を再投資したものです。将来の分配金は、運用状況によって変化します。

商品概要

設定日	2018年4月11日
信託期間	無期限
決算日	原則、偶数月の19日／年6回決算

基準価額等

1万口当たり基準価額（円）	10,603
設定来高値（2024年7月11日）	11,462
設定来安値（2020年3月24日）	8,052
純資産総額（億円）	48.3

＊ 基準価額は信託報酬控除後のものです。

税引前分配金の推移（1万口当たり）

決算期	分配金（円）
第37期（24年6月19日）	80
第38期（24年8月19日）	76
第39期（24年10月21日）	41
第40期（24年12月19日）	75
第41期（25年2月19日）	48
第42期（25年4月21日）	26
設定来累計	2,000

＊ 将来の分配金は、運用状況によって変化します。分配対象額が少額の場合等には、分配を行わないことがあります。

期間別変動要因

	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
世界配当株式	−1.2%	−3.4%	−2.8%	0.3%	11.1%	28.9%
世界株式※	−0.1%	−0.03%	0.02%	0.4%	0.9%	1.0%
新興国株式※	−0.2%	−0.3%	−0.3%	−0.2%	1.1%	1.6%
世界国債※	−0.1%	−0.2%	−0.3%	−0.2%	−0.5%	−0.4%
世界社債	0.1%	0.3%	−0.1%	0.4%	−1.3%	−0.1%
ハイ・イールド債券	0.02%	0.00%	0.04%	0.4%	−0.4%	−1.4%
新興国債券	−0.2%	−0.3%	−0.4%	−0.02%	2.7%	3.1%
ABS（資産担保証券）	−0.01%	0.00%	0.01%	0.04%	0.1%	0.2%
不動産・その他※	−0.1%	−0.1%	−0.1%	0.04%	0.3%	2.4%
インフラファンド	0.1%	0.5%	0.04%	0.2%	−0.03%	2.5%
信託報酬	−0.1%	−0.3%	−0.7%	−1.3%	−3.9%	−9.2%
合計	−1.8%	−3.8%	−4.5%	−0.1%	10.0%	28.6%

＊ 上記は、税引前分配金を再投資したものとして計算した期間別騰落率を、主要項目別に分解した変動の概算値です。
※については、P.3の※をご参照ください。信託報酬は、実質的な負担（後掲の「当ファンドの費用」をご参照ください）を表示しています。

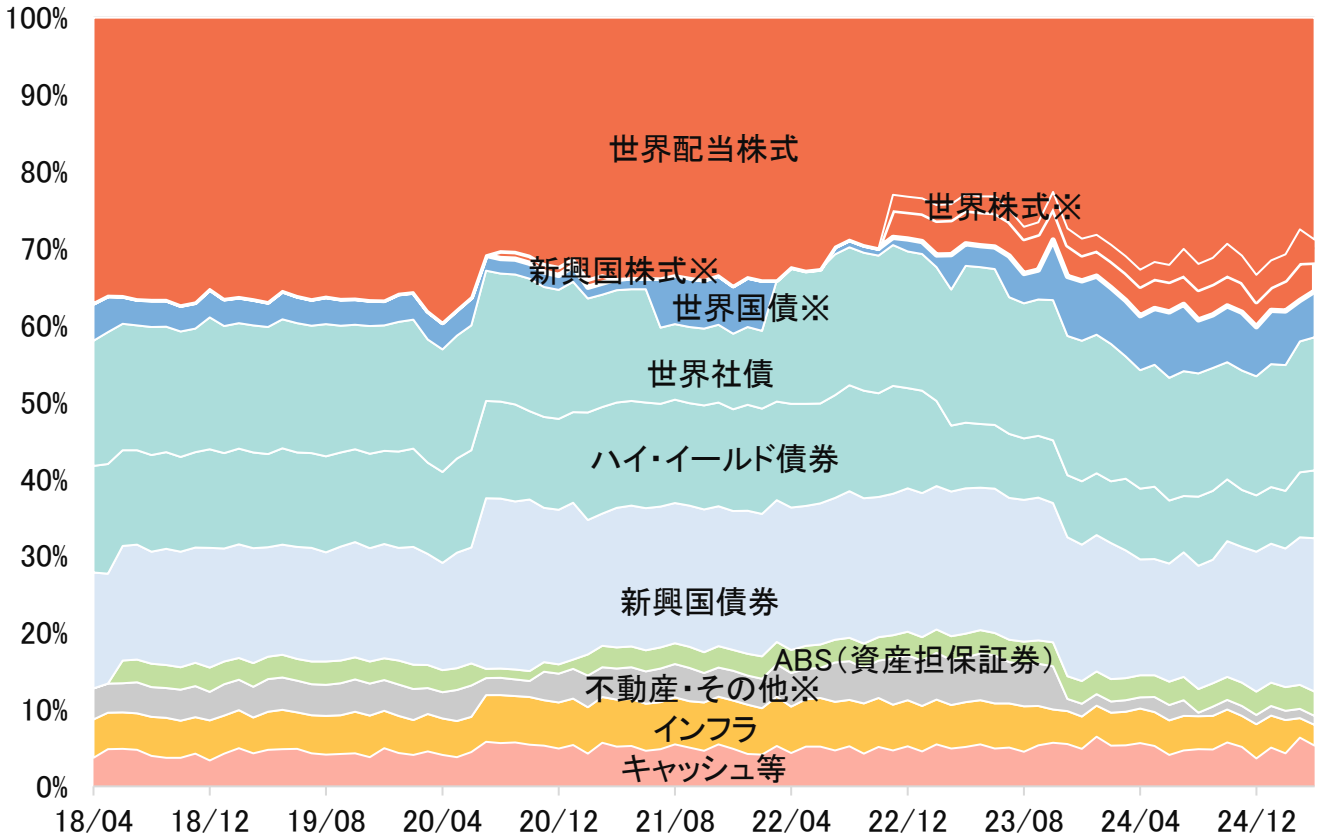
設定・運用：HSBCアセットマネジメント株式会社

当資料のお取扱いにつきましては、後掲の「留意点」をご参照ください。また、投資信託のお申込みに際しては、「投資信託説明書（交付目論見書）」を必ずご覧ください。

HSBC ワールド・セレクション（インカムコース）【愛称：ゆめラップ】

追加型投信／内外／資産複合

信託財産構成の推移（設定来）



※については、P.3の※をご参照ください。

【運用状況】

- 当月末の基準価額は、前月末比−1.8%
- 株式：関税発表前に短期的なボラティリティの高まりを予想し引き下げていた世界株式の組入比率を再び引き上げた。一方、政策の不確実性による逆風を考慮して新興国を引き下げたほか、先進国金融株式を全て売却。またインフラ株式を利益確定で一部売却した
- 先進国国債：先行き不透明な経済環境下、米国および欧州国債の組入比率を引き上げた
- 社債／ハイ・イールド債券：ハイ・イールド債券に弱気な見方を維持しつつも社債とともに組入比率を引き上げた
- 新興国債券：米国の利下げによる恩恵が期待される現地通貨建てを選好。最近の米国債との利回り差拡大を受けて米ドル建てを引き上げた

【今後の投資戦略のポイント】

- 慎重な姿勢を維持しつつ、選別的なアプローチを継続する。今後も市場環境を注視しながら、必要に応じて資産配分の見直しを行っていく方針

設定・運用：HSBCアセットマネジメント株式会社

当資料のお取扱いにつきましては、後掲の「留意点」をご参照ください。また、投資信託のお申込みに際しては、「投資信託説明書（交付目論見書）」を必ずご覧ください。

HSBC ワールド・セレクション【愛称：ゆめラップ】

（安定コース）／（安定成長コース）／（成長コース）／（インカムコース）

追加型投信／内外／資産複合

＜ご参考＞ 投資対象ファンドの保有比率

種類別		ファンド名	ファンド比率			
			安定	安定成長	成長	インカム
株式	世界配当株式	HSBC GIF グローバル・エクイティ・クオリティ・インカム	－	－	－	28.9%
	世界株式	HSBC マルチファクター世界株 UCITS ETF	3.8%	5.2%	6.4%	－
		iシェアーズ Edge MSCI ワールド・クオリティ・ファクター UCITS ETF	2.1%	3.0%	3.0%	－
		HSBC GIF グローバル・インフラストラクチャー・エクイティ	1.5%	2.6%	4.0%	3.0%
	米国株式	HSBC アメリカン・インデックス・ファンド	5.3%	14.3%	26.6%	－
	欧州株式	HSBC ヨーロピアン・インデックス・ファンド	1.3%	3.5%	6.4%	－
	英国株式	HSBC FTSE 100 インデックス・ファンド	0.1%	0.4%	0.9%	－
	日本株式	HSBC 日本・インデックス・ファンド	0.6%	1.5%	2.7%	－
	アジア・パシフィック株式	HSBC MSCI パシフィック（除く日本）UCITS ETF	0.2%	0.3%	0.3%	－
		iシェアーズ コア MSCI パシフィック（除く日本）UCITS ETF	－	0.5%	1.2%	－
	先進国株式	Amundi MSCI ワールド・フィナンシャルズ	－	－	－	－
	新興国株式	iシェアーズ コア MSCI EM IMI UCITS ETF	－	－	－	－
		HSBC MSCI エマージング・マーケッツ UCITS ETF	0.5%	1.9%	4.0%	－
		Fidelity エマージング・マーケッツ・クオリティ・インカム UCITS ETF	－	－	－	2.4%
		HSBC MSCI チャイナ A UCITS ETF	0.7%	1.0%	1.4%	1.4%
	株式合計		16.2%	34.3%	57.0%	35.6%
債券	世界国債	HSBC グローバル・ガバメント・ボンド UCITS ETF	35.9%	22.5%	6.3%	－
		Amundi グローバル物価連動国債 1-10年	3.9%	2.9%	1.6%	－
	米国国債	Amundi US トレジャリー・ボンド・ロング・デイテッド	3.9%	4.4%	4.8%	3.8%
	欧州国債	iシェアーズ ユーロ建て ガバメント・ボンド・デュレーション・ターゲット20年 UCITS ETF	2.2%	2.4%	2.6%	2.2%
	世界社債	HSBC グローバル・コーポレート・ボンド UCITS ETF	23.1%	16.5%	8.6%	17.3%
	ハイ・イールド債券	HSBC GIF グローバル・ハイ・イールド・ボンド	1.8%	2.6%	3.6%	8.8%
	新興国債券	HSBC GIF 現地通貨建・グローバル・エマージング・マーケッツ	2.1%	3.3%	4.2%	10.8%
		HSBC グローバル・エマージング・マーケット・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	1.4%	2.1%	2.7%	9.2%
	ABS（資産担保証券）	HSBC GIF グローバル・インベストメント・グレード・セキュリタイズド・クレジット・ボンド	4.0%	2.9%	1.6%	3.2%
	債券合計		78.3%	59.5%	35.9%	55.2%
その他	不動産	HSBC GIF グローバル・リアルエステート・エクイティ	0.4%	1.2%	2.2%	1.2%
	インフラ	HICL インフラストラクチャー PLC	－	－	－	2.7%
	その他合計		0.4%	1.2%	2.2%	3.9%
キャッシュ等			5.1%	5.0%	5.0%	5.3%

※ファンド比率は各コース内の基準日時点で保有しているクラスの比率を表示しています。表示単位未満を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。投資対象ファンド名に「HSBC」を含むファンドの運用は、HSBCアセットマネジメント内の運用会社が行います。投資対象ファンド名の「GIF」とは、「グローバル・インベストメント・ファンズ」の略です。

「iシェアーズ」は、ブラックロック・グループが運用するETFブランドです。「Fidelity」は、フィデリティ・インターナショナルが運用するETFブランドです。「Amundi」は、アムンディ・グループが運用するETFブランドです。「HICL」は、HICL Infrastructure PLCが発行する外国投資法人の証券です。「BILFINGER BERGER」は、Bilfinger Berger Global Infrastructure SICAV S.A. が発行する外国投資法人の証券です。

月次レポート

HSBC ワールド・セレクション【愛称：ゆめラップ】

（安定コース）／（安定成長コース）／（成長コース）／（インカムコース）

追加型投信／内外／資産複合

HSBCワールド・セレクションが目指すもの

当ファンドの特色

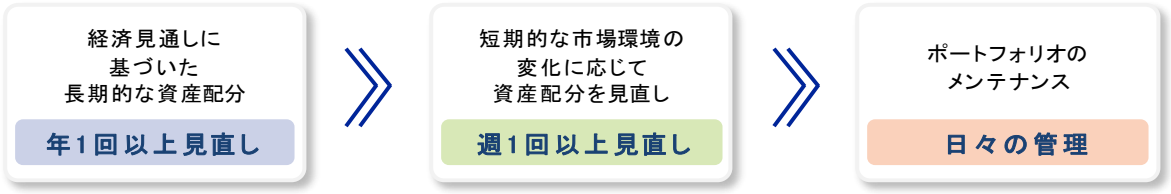
世界の様々な資産（株式、債券等）に分散投資を行います。

- 主として「先進国株式」、「新興国株式」、「先進国債券」、「新興国債券」およびその他資産を投資対象資産とし、分散投資を行います。
- 世界の幅広い資産の中から、市場環境に応じた魅力的な資産（投資対象ファンド）を選抜します。
- 投資対象ファンドは適宜見直しを行い、変化する金融市場に適応するため、必要に応じて追加・変更します。

（注1）安定コース、安定成長コース、インカムコースのみ投資対象となります。
（注2）インカムコースのみ投資対象となります。
※上記は当社による分類です。これら資産のすべてに投資をするとは限りません。また投資対象資産は、将来、追加・変更される場合があります。
「クオリティ株」とは財務健全性や収益安定性が高いと判断される株式を指します。投資対象ファンドの詳細は、交付目論見書の投資対象ファンドの概要をご覧ください。

市場環境の変化に合わせて、資産配分を変更します。

- 中長期的な経済見通しと短期的な市場環境の変化等に応じて、機動的に資産配分を変更します。
- 資産保全のためにリスク資産を減らすこともあれば、収益獲得のためにリスク資産を増やすこともあります。



市況動向やファンドの資金動向等によっては、上記のような運用ができないことがあります。

注)P.13～P.18の内容は、当資料発行日時点で最新の目論見書を基準としております。

設定・運用：HSBCアセットマネジメント株式会社

当資料のお取扱いにつきましては、後掲の「留意点」をご参照ください。また、投資信託のお申込みに際しては、「投資信託説明書（交付目論見書）」を必ずご覧ください。

月次レポート

HSBC ワールド・セレクション【愛称：ゆめラップ】

（安定コース）／（安定成長コース）／（成長コース）／（インカムコース）

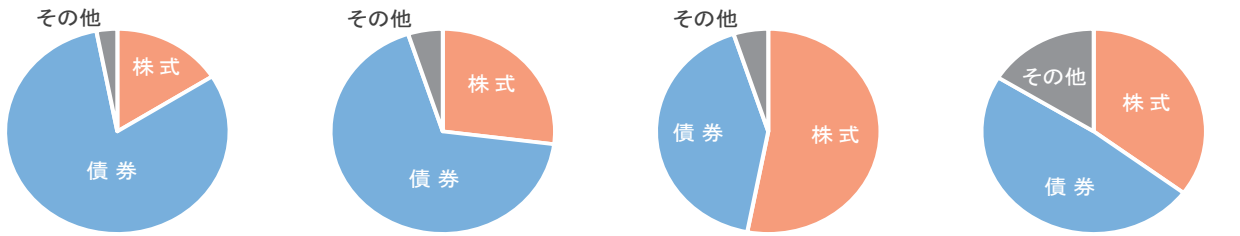
追加型投信／内外／資産複合

目標リスク水準に応じてポートフォリオを構築します。

- リスク（収益率の変動幅）と投資目的に応じて、4つのコースから選ぶことができます。
- 各コースの目標リスク水準に基づく厳格なリスク管理を行いつつ、リターンの最大化を目指します。

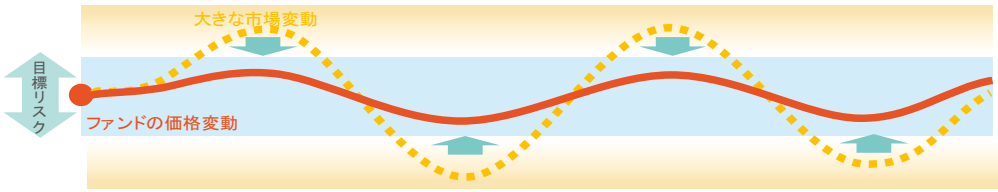
各コースの目標リスク水準と資産配分

安定コース	安定成長コース	成長コース	インカムコース
年率5％程度	年率5％～8％程度	年率8％～11％程度	年率8％～11％程度



※上記の円グラフはイメージ図であり、実際のファンドの資産配分とは異なります。当ファンドは市場環境の変化に合わせて資産配分を変更します。

目標リスク水準に基づいたリスク管理



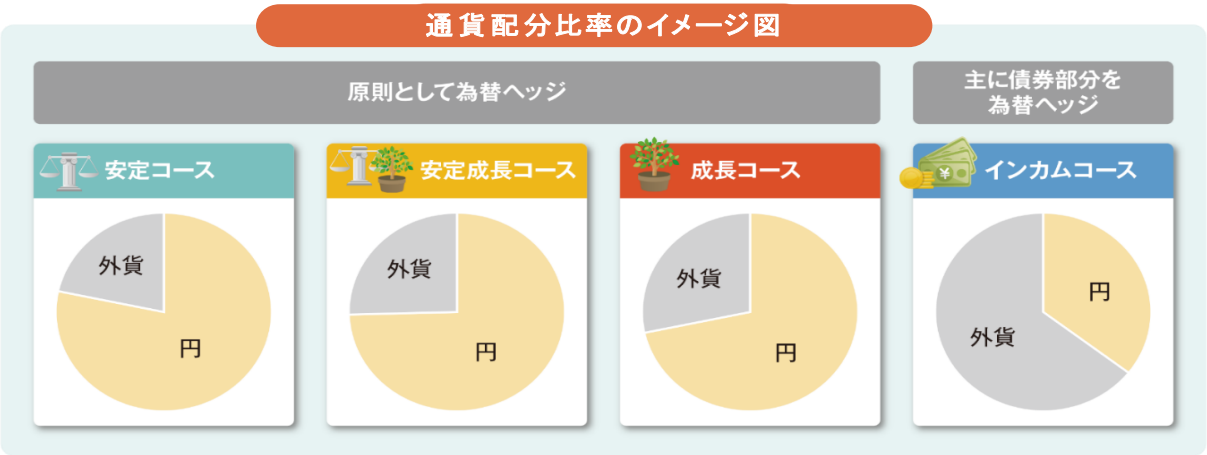
市場環境に応じて資産配分を変更し、価格変動を目標リスク水準以内に抑えることを目指します

※上記はイメージ図であり、実際のファンドの値動きとは異なります。また、当ファンドの将来の運用成果をお約束するものではありません。

外貨建資産への投資については為替ヘッジを活用します。

- 為替ヘッジを行うことで、外貨建資産への投資に伴う為替リスクの軽減を目指します。
- 当ファンドは世界の様々な資産に分散投資を行っており、一部為替ヘッジを行わない部分があります。

通貨配分比率のイメージ図



※上記は外貨建資産の保有に対する為替ヘッジを行ったあとの実質的な通貨配分比率のイメージ図で、実際の配分比率とは異なります。

市況動向やファンドの資金動向等によっては、上記のような運用ができないことがあります。

設定・運用：HSBCアセットマネジメント株式会社

当資料のお取扱いにつきましては、後掲の「留意点」をご参照ください。また、投資信託のお申込みに際しては、「投資信託説明書（交付目論見書）」を必ずご覧ください。

月次レポート

HSBC ワールド・セレクション【愛称：ゆめラップ】

（安定コース）／（安定成長コース）／（成長コース）／（インカムコース）

追加型投信／内外／資産複合

各コースの決算時に、収益分配方針に基づき、分配を行います。

安定コース／安定成長コース／成長コース：年1回の決算時に、分配方針に基づき、分配を行います。

決算日は、毎年8月19日（休業日の場合は翌営業日）です。

インカムコース：年6回の決算時に、分配方針に基づき、分配を行います。

決算日は、毎年2月、4月、6月、8月、10月、12月の各19日（休業日の場合は翌営業日）です。

インカムコースの分配金支払方針のイメージ図

分配金額は投資先ファンドの配当等収益の水準に応じて決定します*。

ポイント 過大な分配金の払出しによる基準価額の下落を回避できます

※上記はイメージ図で実際の分配金のお支払いとは異なります。詳細は「収益分配金に関する留意事項」をご覧ください。

＊インカムコースは、投資先ファンドから、実勢の収益等の水準に相当する額の配当金を受け取ります。この範囲内で収益分配を行う限り、過大な収益分配によって投資元本を大きく毀損することはないとの判断から、この範囲内で分配金額を決定します。なお、配当等とは投資先ファンドの利息収入、配当収入のほか、投資収益（税引後）などを含みます。

HSBCグローバル・アセット・マネジメント（UK）リミテッドが運用を行います。

- HSBCグローバル・アセット・マネジメント（UK）リミテッドに、当ファンドの資産配分および外国為替予約取引の運用の指図に関する権限を委託します。
- 豊富な運用経験と知識を有するHSBCアセットマネジメントのマルチアセット運用チームが運用します。世界各地の運用プロフェッショナルからのインプットに加え、HSBCグループ内の情報を活用します。

世界有数の金融グループ「HSBCグループ」

HSBCは1865年に設立され、英国・ロンドンに本部を置いています。
ヨーロッパ、アジア・太平洋、南北アメリカ、中東、北アフリカにまたがる国と地域でお客様にサービスを提供する世界有数の金融グループです。香港においては、香港ドルの発券銀行の役割を担っています。日本では幕末の1866年に営業を開始し、150年以上の歴史があります。

香港における紙幣発券銀行

HSBCワールド・セレクション特設サイト

ファンドの詳細は<u>こちら</u>

またはQRコードからご覧ください

運用報告動画など最新情報をご確認いただけます

※HSBCアセットマネジメント株式会社のウェブサイトに移動します。

市況動向やファンドの資金動向等によっては、上記のような運用ができないことがあります。

<u>設定・運用：HSBCアセットマネジメント株式会社</u>

当資料のお取扱いにつきましては、後掲の「留意点」をご参照ください。また、投資信託のお申込みに際しては、「投資信託説明書（交付目論見書）」を必ずご覧ください。

＜収益分配金に関する留意事項＞

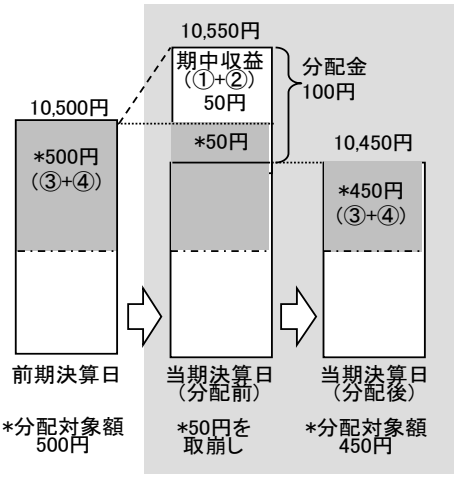
■ 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

投資信託で分配金が支払われるイメージ

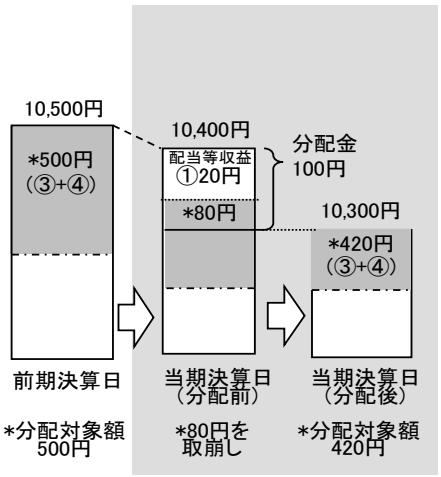
■ 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算日から基準価額が上昇した場合



前期決算日から基準価額が下落した場合

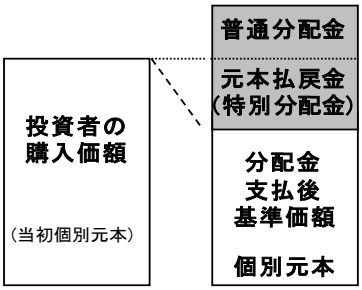


（注）分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

※ 上記はイメージ図であり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご留意ください。

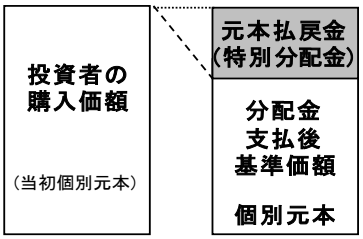
■ 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
■ ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金（特別分配金）は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金（特別分配金）部分は、非課税扱いとなります。

分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金 ：当初個別元本（投資者のファンドの購入価額）を上回る部分からの分配金です。
元本払戻金（特別分配金）：当初個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金（特別分配金）の額だけ減少します。

(注)普通分配金に対する課税については、投資信託説明書（交付目論見書）をご参照ください。

設定・運用：HSBCアセットマネジメント株式会社

当資料のお取扱いにつきましては、後掲の「留意点」をご参照ください。また、投資信託のお申込みに際しては、「投資信託説明書（交付目論見書）」を必ずご覧ください。

当ファンドの主なリスク

投資信託は元本保証のない金融商品です。また、投資信託は預貯金とは異なることにご注意ください。当ファンドは、主に値動きのある外国の有価証券を実質的な投資対象としますので、組入有価証券の価格変動あるいは外国為替の相場変動次第では、当ファンドの基準価額が下落し、投資者の皆さまの投資元本を割り込むことがあります。当ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。

株価変動リスク	株価は、政治・経済情勢、発行企業の業績、市場の需給等を反映して変動します。株価は短期的または長期的に大きく下落することがあります。株式市場には株価の上昇と下落の波があり、現時点で価格が上昇傾向であっても、その傾向が今後も継続する保証はありません。
金利変動リスク	債券価格は、市場金利の変動等の影響を受けます。一般的に、金利が上昇すると債券価格は下落します。なお、その価格変動は、債券の種類、償還までの残存期間、発行条件等により異なります。
その他資産のリスク	不動産に関連する資産に投資する場合、市場金利の変動、景気動向等の影響を受けるリスクがあります。不動産以外のその他資産に投資する場合、当該資産の属性に応じたリスクがあります。
信用リスク	株式および債券等の有価証券の発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなる可能性があります。債券等への投資を行う場合には、発行体の債務不履行や支払遅延等が発生する場合があります。
為替変動リスク	為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。円金利がヘッジ対象通貨の金利より低い場合には、これらの金利差相当分のヘッジコストが発生します。為替ヘッジを行っていない部分の外貨建資産の円換算価値は、当該外貨の為替ヘッジを行っていない通貨に対する為替レートの変動の影響を受けます。
流動性リスク	急激かつ多量の売買により市場が大きな影響を受けた場合、または市場を取り巻く外部環境に急激な変化があり、市場規模の縮小や市場の混乱が生じた場合等には、機動的に有価証券等を売買できないことがあります。
カントリーリスク	投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化等により市場に混乱が生じた場合、または資本取引等に関する規制や税制の変更、新たな規制が設けられた場合には、基準価額が影響を受けることや投資方針に沿った運用が困難になることがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。
※上記のリスクをご理解いただき、投資の判断はご自身でなさいますようお願い申し上げます。

【留意点】

- 当資料は委託会社が作成した販売用資料です。当資料は信頼に足ると判断した情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料の記載内容等は作成時点のものであり、今後変更されることがあります。また、データ等は過去の実績あるいは予想を示したものであり、将来の成果を示唆するものではありません。
- 投資信託はリスクを含む商品であり、主に値動きのある有価証券（外国証券には為替リスクもあります。）に投資しますので、基準価額は組入有価証券の値動き、為替変動による影響を受けます。したがいまして、元本が保証されるものではありません。投資信託の運用成果（損益）はすべて投資者の皆さまに帰属します。
- 投資信託は預金または保険契約ではなく、預金保険機構または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入の投資信託は投資者保護基金の保護の対象ではありません。当ファンドの購入のお申込みに関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（クーリング・オフ）の適用はありません。
- 購入のお申込みにあたりましては、投資信託説明書（交付目論見書）および契約締結前交付書面（目論見書補完書面等）を販売会社からお受取りの上、十分にその内容をご確認いただき、ご自身でご判断ください。

委託会社、その他関係法人

委託会社：HSBCアセットマネジメント株式会社
＜照会先＞ 電話番号 03-3548-5690（受付時間は営業日の午前9時～午後5時） ホームページ www.assetmanagement.hsbc.co.jp

投資顧問会社（運用委託先）：HSBCグローバル・アセット・マネジメント（UK）リミテッド

受託会社：三菱UFJ信託銀行株式会社

販売会社：委託会社の＜照会先＞でご確認いただけます。

※ 販売会社固有情報（金融商品取引業者（登録番号）、加入協会等）については、当資料内「お申込み・投資信託説明書（交付目論見書）のご請求は」をご覧ください。販売会社は、投資信託説明書（交付目論見書）の提供場所になります。

設定・運用：HSBCアセットマネジメント株式会社

HSBC ワールド・セレクション【愛称：ゆめラップ】

（安定コース）／（安定成長コース）／（成長コース）／（インカムコース）
追加型投信／内外／資産複合

お申込みに関する要項

お申込みメモ

購入単位	販売会社が個別に定める単位とします。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
換金単位	販売会社が個別に定める単位とします。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
換金代金	原則として換金申込受付日から起算して7営業日目以降に販売会社でお支払いします。
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口換金には制限を設ける場合があります。
申込受付不可日	日本国内の営業日であっても、次のいずれかに該当する場合には、購入および換金の申込受付は行いません。 ロンドン、ニューヨーク、ルクセンブルクの証券取引所または銀行の休業日、ルクセンブルクのイースター・マンデーの前週の月曜日、クリスマス（12月25日）から4営業日※前となる日　※ロンドンの証券取引所または銀行の営業日を指します。
信託期間	**安定コース／安定成長コース／成長コース**：無期限（信託設定日：2015年9月25日） **インカムコース**：無期限（信託設定日：2018年4月11日）
繰上償還	各ファンドの残存口数が30億口を下回った場合等には、各ファンドの信託を終了させる場合があります。
決算日	**安定コース／安定成長コース／成長コース**：毎年8月19日（休業日の場合は翌営業日） **インカムコース**：毎年2月、4月、6月、8月、10月、12月の各19日（休業日の場合は翌営業日）
収益分配	**安定コース／安定成長コース／成長コース**：年1回の決算時に収益分配方針に基づき分配します。 **インカムコース**：年6回の決算時に収益分配方針に基づき分配します。 ただし、分配対象額が少額の場合等には分配を行わないことがあります。分配金の受取方法により、分配金を受取る「一般コース」と分配金を再投資する「自動けいぞく投資コース」の2つのコースがあります。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。 公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合にNISA（少額投資非課税制度）の適用対象となります。「安定コース」、「安定成長コース」および「インカムコース」はNISAの「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」の対象であり、「成長コース」はNISAの「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」および「つみたて投資枠（特定累積投資勘定）」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 益金不算入制度、配当控除の適用はありません。
その他	**安定コース／安定成長コース／成長コース／インカムコース**の各コース間でスイッチングが可能です。各コースを換金した受取金額をもって別の各コースの購入の申込みを行うことができます。販売会社によっては、一部のコースのみの取扱いとなる場合やスイッチングの取扱いを行わない場合があります。詳しくは販売会社にご確認ください。 基準価額（1万口当たり）は、翌日の日本経済新聞朝刊に「ワーセレ安定」「ワーセレ安成」「ワーセレ成長」「ワーセレイン」の略称で掲載されます。委託会社の判断により購入申込の受付を中止した場合等において、販売会社が定める定時定額による受付を継続することがあります。

当ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
購入時手数料	購入金額に、1.65％（税抜1.50％）を上限として、販売会社が個別に定める率を乗じて得た額を購入時にご負担いただきます。（購入時手数料は、商品内容の説明ならびに購入手続き等にかかる費用の対価として、販売会社に支払われます。） ※詳しくは販売会社にお問い合わせください。	
信託財産留保額	ありません。	
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
運用管理費用（信託報酬）	年1.243％（税抜年1.13％）	各ファンド（コース）とも、ファンドの日々の純資産総額に対して信託報酬率を乗じて得た額。 **安定コース／安定成長コース／成長コース** ファンドの信託報酬は、日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、毎計算期間の最初の6ヶ月終了日、毎計算期末または信託終了のとき、ファンドから支払われます。 **インカムコース** ファンドの信託報酬は、日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、毎計算期末または信託終了のとき、ファンドから支払われます。
（委託会社）	税抜年0.55％	ファンドの運用等の対価（運用委託先への報酬が含まれます。）
（販売会社）	税抜年0.55％	分配金・換金代金の支払い、運用報告書等の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	税抜年0.03％	運用財産の管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
投資対象とする投資信託証券	年0.06％程度	投資対象とする投資信託証券の実質投資比率を勘案した運用管理費用
実質的な負担	年1.303％（税抜年1.19％）程度	投資対象とする投資信託証券の運用管理費用を加味して、投資者が実質的に負担する運用管理費用について算出したものです。
その他費用・手数料	ファンドの保有期間中、その都度ファンドから支払われます。 ・有価証券売買委託手数料／保管銀行等に支払う外貨建資産の保管費用／信託財産に関する租税、信託事務処理に要する費用等 ・振替制度にかかる費用／印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出にかかる費用／監査法人等に支払う監査報酬等（純資産総額に対し上限年0.20％として日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、**インカムコース**については毎年2月および8月に到来する計算期末または信託終了のとき、**安定コース／安定成長コース／成長コース**については毎計算期間の最初の6ヶ月終了日、毎計算期末または信託終了のとき、ファンドから支払われます。） ・投資先投資信託証券における売買にかかる手数料、租税、カストディーフィー、監査報酬等 ※その他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率等を記載することができません。	

※ファンドの費用の総額については、投資者のファンドの保有期間に応じて異なるため、表記できません。

設定・運用：HSBCアセットマネジメント株式会社　金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第308号
加入協会／一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会

月次レポート

HSBC ワールド・セレクション【愛称：ゆめラップ】

（安定コース）／（安定成長コース）／（成長コース）／（インカムコース）

追加型投信／内外／資産複合

お申込み・投資信託説明書（交付目論見書）のご請求は

（商号・金融商品取引業者の登録番号・加入協会の順に表示、証券・銀行・保険毎　五十音順、2025年5月19日現在）

金融商品取引業者名	金融商品取引業者	登録金融機関	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社SBI証券	○		関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
株式会社スマートプラス	○		関東財務局長(金商)第3031号	○	○		○
立花証券株式会社*1（インターネットのみ）	○		関東財務局長(金商)第110号	○		○	
松井証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第164号	○		○	
マネックス証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	○
三菱UFJ eスマート証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第61号	○	○	○	○
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社（インターネットのみ）	○		関東財務局長（金商）第2336号	○	○	○	○
楽天証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
株式会社イオン銀行（委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社）		○	関東財務局長(登金)第633号	○			
株式会社SBI新生銀行（委託金融商品取引業者 株式会社SBI証券）		○	関東財務局長(登金)第10号	○		○	
株式会社SBI新生銀行（委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社）		○	関東財務局長(登金)第10号	○		○	
株式会社三菱UFJ銀行（インターネットのみ）		○	関東財務局長(登金)第5号	○		○	○
株式会社三菱UFJ銀行（委託金融商品取引業者　三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社）		○	関東財務局長(登金)第5号	○		○	○
株式会社　ゆうちょ銀行		○	関東財務局長(登金)第611号	○			

*1 成長コースのみの取扱いです。

設定・運用：HSBCアセットマネジメント株式会社